



神奈川県・東京都連携 MTEPセミナー

導入・
応用編RoHS/REACH に対応する
自律的マネジメントシステムの構築

— 変わる規制を見込んだ仕組みで対応する —

2020年10月20日(火) 10:30~16:50

定員
50名
(先着順)ご受講された方全員に
副読本を進呈いたします会場 東京都立産業技術研究センター 講堂
(東京都江東区青海2-4-10)アクセス：ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前
りんかい線「東京テレポート」駅下車、徒歩15分

受講料 5,000円(税込)

※3密を避け、例年より少人数
で実施いたします。
お早目にお申込みください。

テーマ

『自社の「利用可能な最良の技術 (BAT: Best Available Technology/ Techniques)」を見極める』

- 対象 企業における化学物質規制対応の実務担当者、社内教育、情報伝達のご担当者
特に ・本質を理解しないまま実務対応に追われている担当者
・法規制の仕組みを整理したい新任担当者
・これから自社で取り組みを始めたい方など

内容

自社がリスクベースで何を何処まで取り込むのかを見極めることが重要です。
Part1として、改めて、EU法令を題材にして、法規制の本質の理解を深めていただきます。この説明は、日常的に法規制対応を担当している実務者の方を対象としていますが、基本事項解説ですので、新任担当者やサプライヤーの方にも聞いていただきたい内容です。
Part2として、新たな規制物質の科学的解説とその測定方法など、これから法規制対応を進めるための最新情報を専門技術者から説明していただきます。
法規制の本質を知り、新たな規制技術を知ったうえで、自社としてどこまで対応すべきなのかを考えていただくのが狙いです。検討した結果を整理するとBATが明確になります。

プログラム	10:30~10:35	オープニング	(一社)東京環境経営研究所 理事長 松浦 徹也 氏
	10:35~11:20 (45分)	Part1	REACH規則の本質 (一社)東京環境経営研究所 シニアコンサルタント 柳田 覚 氏
	11:25~12:10 (45分)		CLP規則の本質 (一社)東京環境経営研究所 常務理事 井上 晋一 氏
	13:00~13:45 (45分)	Part2	RoHS指令の本質 (一社)東京環境経営研究所 執行理事 中山 政明 氏
	13:55~14:40 (45分)		Nano/ REACH規則 登録 機器分析紹介 (TEM) (地独)東京都立産業技術研究センター 主任研究員 浦崎 香織里 (地独)東京都立産業技術研究センター 副主任研究員 小川 大輔
	14:50~15:35 (45分)		PFOA/ POPs規則 機器分析紹介 (LC-MS/MS) (地独)東京都立産業技術研究センター 主任研究員 浦崎 香織里 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所 上席研究員 岩本 卓治
	15:50~16:50 (60分)	パネルディスカッション	講師全員

※終了後、個別相談会を開催いたします(事前申込要)



MTEP (広域首都圏輸出品技術支援センター)とは、1都10県1市の公設試験研究機関が連携し、海外規格に関する無料相談や情報提供などの海外展開支援を行っている共同運営事業です。

●カリキュラム編成者からのメッセージ●

今年、有害化学物質管理のWSSDの目標年を迎えました。次の目標が「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals:SDGs)です。SDGsは経営リスクを回避する一つの手段であり、化学物質管理についても、特別あるいは特殊な管理ではなく、普遍的(ユニバーサル)な管理とするものです。

これまで自由に利用できた化学物質が使えなくなり、ビジネススタイルの変化が求められることがあります。2000年頃、*Who Moved My Cheese?* がベストセラーになりました。“My Cheese”はこれまでのビジネススタイルで、大事なチーズがある日に突然無くなったのです。小人のHem(変化を認めず変化に逆らう)は“Why did they do this to me?”と叫び、状況分析に没頭します。ねずみのSniffとScurry(単純にいち早く変化をかぎつけ、すぐさま行動を起こす)は、Hemが考えている間に新しいチーズを見つけています。

法規制変化は日常と捉えて“Be Ready To Change Quickly And Enjoy It.”がその対応の心構えになります。日常の変化を通常に取り込む仕組みを「自律的マネジメントシステム」として構築する必要があります。自律的マネジメントシステムの基本はリスクベースで自社の身の丈に合った、他社にない独自の仕組みであることです。

一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長
一般社団法人 産業環境管理協会 技術参与
松浦 徹也 (中小企業診断士・環境計量士)

～本講座は4つのパートで構成しています～

実務で活かせる実践編を併せて受講することをお勧めします

Part 1 企業が順守すべき典型的な法規制を知る

EU REACH規則、CLP規則、RoHS指令 など

Part 2 新たな規制の動向を知る

ナノ物質、PFOAなどをめぐる最前線の科学

Part 3 自律的マネジメントシステムの構成要素を知る

企業が順守すべき典型的な法規制の自社システムへの統合

Part 4 第三者に自社システムを説明する文書を作成する

技術文書(TD)と適合宣言書(DoC)を作成する

導入・
応用編

実践編

2021年1月
開催予定

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

国や県のガイドラインに則り人数制限、社会的距離の確保などの感染症対策実施のうえで開催いたします。



●申込要項

- *受講申込書にご記入の上、郵送又はFAXにてお送り下さい。KISTECホームページからもお申し込み頂けます。
- *申込締切後、受講決定者には受講票・受講料請求書等をお送りします。
- *申込締切り後でも、定員に余裕がある場合は申込を受付けられる場合がありますのでお問合せください。
- *FAXでお申し込みの場合は、お手数ですが、着信確認のお電話をお願いいたします。
- *やむを得ない事情により、日程・内容の変更や中止をする場合があります。

●後援(一部申請中) (公社)環境科学会 (公社)電気化学会 (一社)電子情報技術産業協会 (一社)表面技術協会 (株)ケイエスピー

●お申込み・お問い合わせ 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC) 教育研修グループ

溝の口支所 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP棟棟1F

Tel. (044)819-2033 Fax. (044)819-2097

e-mail: ed@newkast.or.jp URL https://www.kistec.jp/

『RoHS/REACHに対応する自律的マネジメントシステムの構築【導入・応用編】』受講申込書

FAX送付先 044-819-2097

*の項目は該当するものに○を付けてください。

ふりがな 氏名	年齢	歳	性別*	男	女
ふりがな 企業名	所属・ 役職名				
所在地	〒 - 都道府県				
TEL	(内)	FAX	E-mail	@	
以前にいずれかの講座を受講したことが*			今後、KISTECからの情報をお送りしてよろしいですか?		
ある・ない			●メールマガジン* 要 不要 ●教育講座DM* 要 不要		
資本金*	ア 3億円以下	イ 3億円超～10億円未満	ウ 10億円以上	エ 該当なし	従業員数*
情報入手先*	ア 300人以下 イ 301人～1000人未満 ウ 1000人以上				
ダイレクトメール・KISTECホームページ・メールマガジン・社内回覧・イベント会場での案内・講師からの紹介 受講生からの紹介・学会誌・学会のサイト()・その他()					
●講義で取り上げて欲しい質問や個別相談のご希望がございましたら、内容をご記入ください。(受講申込後にも承ります。)					